

女性とジェンダーの歴史

第7号

2020.3

- 特集** イギリス女性参政権実現100周年記念シンポジウム 女性と市民権 — 国策を越えて
 シンポジウムの趣旨説明と概要 山口みどり (1)
 イギリス女性参政権運動史、研究の来し方、行く末
 — 国際的運動の形成と展開 — 河村 貞枝 (5)
 第一次世界大戦中の女性参政権運動 — WSPUの活動を中心に — 佐藤 繭香 (14)
 コメント — 女性参政権運動の「伝染」について 金澤 周作 (27)
- 論文**
 表象される嗅覚の地図
 — ヴァージニア・ウルフにおける身体と空間の想像的構築をめぐって — 伊藤 裕子 (32)
 広がるネットワーク、広がるイデオロギー
 — 19世紀半ば「女性衛生協会」の活動について — 金 慧昇 (48)
 消費者としての女性たち
 — 19～20世紀転換期イギリスの協同組合運動を事例として — 浮網 佳苗 (65)
- 研究ノート**
 OWAADとウィンドラッシュの娘たち
 — 「旧宗主国」における移民女性運動「史」 — 堀内真由美 (82)
- リレー討論「いま、女性史に問われているもの」第9回**
 現在をみつめ、未来を照らすものとしての女性史 香川せつ子 (95)
- 女性史・ジェンダー史の古典を読む 第3回**
 河村貞枝『イギリス近代フェミニズム運動の歴史像』を読んで 小西 正紘 (99)
- 研究会の記録**
 第31回研究会 (2018年12月8日)
 広がるネットワーク、広がるイデオロギー
 — 19世紀半ば「女性衛生協会」の活動について — 金 慧昇 (102)
 19～20世紀転換期アイルランドにおける女子校文芸部の活動 八谷 舞 (103)
 第32回研究会 (2019年6月8日)
 河田嗣郎の男女平等思想とイギリス女性論 亀口 まか (104)
 第二次世界大戦後のイギリス植民地における社会開発政策と女性 溝上 宏美 (105)
 BBC *Woman's Hour*にみるイギリス第二次大戦後の女性史の歩み 坂口美知子 (106)
- 書評**
 桑 和沙著
 『美と大衆 — ジャポニズムとイギリスの女性たち』 門田 園子 (108)
 土屋敦・野々村淑子編
 『孤児と救済のエポック — 十六～二〇世紀にみる子ども・家族規範の多層性』 稲井 智義 (110)
 ルース・シュウォーツ・コーワン著 (高橋雄造訳)
 『お母さんは忙しくなるばかり — 家事労働とテクノロジーの社会史』 三井 淳子 (112)
 白井堯子著
 『明治期女子高等教育における日英の交流
 — 津田梅子・成瀬仁蔵・ヒューズ・フィリップスをめぐって』 内山 (小澤) 由理 (114)
 鄭鴻生著 (天野健太郎訳)
 『台湾少女、洋裁に出会う — 母とミシンの60年』 中込さやか (116)

イギリス女性史研究会